

# リハビリテーション科専門医研修ネットワークプログラム

## 1. はじめに

リハビリテーション科専門医（リハ科専門医）とは病気や外傷の結果生じる障害を医学的に診断治療し、機能回復と社会復帰を総合的に提供することを専門としています。その目的は身体的、心理的、社会・職業的に最大のレベルまで到達させることであり、最終的には患者のQOL（生活の質）を高めることです。

しかしながら、全国的にもリハ科専門医の絶対数が少ないことは大きな問題となっています。実際、静岡県内の地域各病院の先生からは、リハ科専門医の派遣要望が非常にありますが、残念ながら需要に見合った供給ができていないのが現状です。さらに新しく始まる新専門医制度の基本領域に専門医に入ることが決まり、その重要性は周知の事実となりました。そこで新専門医の導入も見据え、地域からの要望に答えるべく、一刻も早く体系だったプログラムに基づくリハ科専門医の養成が急がれます。

このプログラムは、静岡県内の病院のニーズにお答えすることはもちろん、患者さんにとっても大変有益となるような、リハ科専門医の養成を目的に作成されました。若い先生方の積極的なプログラムへの参加を希望してやみません。

浜松医科大学附属病院 リハビリテーション科 病院教授 美津島 隆

## 2. 目的

このプログラムの目的は、浜松医科大学附属病院および静岡県内の教育関連施設において臨床経験を積み、リハ科専門医の資格を取得することです。そのために脳疾患、脊髄疾患、骨関節疾患、小児疾患、神経筋疾患、切断、呼吸・循環器疾患、その他悪性腫瘍などのリハビリ診療が経験できる臨床研修プログラムとなっています。

## 3. 目標

将来的にリハ科専門医を目指す若手医師を対象として、静岡県内の病院にリハ科専門医を適材適所に配置するのが目標です。我々は静岡県内の地域医療に貢献する質の高いリハ科専門医の養成に主眼をおいています。

## 4. 特徴

当科の後期研修プログラムは、昨年専門医認定機構の施設調査において研修施設として十分な機能を備えているとして高い評価を得ました。リハ科専門医取得のための研修先も十分にあり、充実した研修が受けられることを保証します。

## 5. 研修カリキュラム

原則として後期研修1年目は当科で、2年目以降は、基本的には病棟のある病院で、リハビリ科医師として全身管理やリハビリの指導方法などを学び、幅広い症例に対応できるリハビリ科医師を養成します。特に患者数の多い整形外科疾患、脳血管障害などについては、他科との交流を含めて、重点的に勉強します。また、臨床研究者の育成のために、研究活動に力を入れ学位取得をめざします。

	研修先	研修内容	目標
1年次	浜松医科大学病院 関連研修施設	リハビリ科の固有床の担当。 さらに他科の脳卒中、整形外科疾患（切断、脊損など含む）呼吸循環器、神経筋疾患、悪性腫瘍、術後の患者の管理、リハビリ。	リハビリ科の医師として必要な基本的診療技術や技能を習得する。地域の中核としての大学病院のリハビリ科の役割を理解する。
2年次	関連研修施設	教育関連施設において脳卒中、整形外科疾患（切断、脊損など含む）呼吸循環器、神経筋疾患、悪性腫瘍、術後の患者の管理、リハビリを担当し、知識を深め、幅広い経験を積む。	実践的なリハビリの診療技術の習得。平行して臨床基礎研究を行い、学会発表、論文作成、義肢装具等適合判定医の資格を取得。専門医の取得、身体障害者福祉法15条指定医の取得。
3年次			

## 6. 研修例

1年目	2年目		3年目	
通年	期間（前半）	期間（後半）	期間（前半）	期間（後半）
浜松医科大学病院リハ科	急性期	回復期	小児など	脊髄損傷
	回復期	小児など	脊髄損傷など	急性期

1年目		2年目		3年目	
期間（前半）	期間（後半）	通年		期間（前半）	期間（後半）
浜松医科大学病院リハ科	小児など	回復期	急性期	脊髄損傷など	浜松医科大学病院リハ科
		急性期	回復期		

## 7. 研修病院群（順不同）

1) 浜松医科大学附属病院、2) 聖隷三方原病院、3) 浜松労災病院、4) JA厚生連遠州病院、5) 静岡市立清水病院、6) 浜松市リハビリテーション病院、7) 浜松赤十字病院

## 8. 研修期間

2年間の初期研修終了後3年間とする。

1. プログラム全体の研修期間は3年間（36ヶ月）

2. リハビリ科専門医かつ指導医の資格を持ったリハビリ科医師が指導にあたる。4年目にリハビリ科専門医試験を受験する。